

趣旨・目的

- ・大規模国際スポーツイベントを活用したアース戦略の取組加速化、横断的取組の推進、ビジネス機会創出の観点から、九州の経済界を主体とした具体的な取組を強化。
- ・九州・沖縄地方産業競争力協議会に報告・提案を行い、その成果をアース戦略に反映。

活動内容

1. 施策情報や九州内外の自治体・事業者の取組情報を収集・提供
2. 個別案件の組成、推進・支援
3. 関係機関等と連携した取組
4. 協議会事業（プロジェクト）への活動成果の反映 など

主な取組状況

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1.九州の農林水産物食品の輸出・消費拡大	(1) オリパラ関連施設への九州産品の利用を促進	<ul style="list-style-type: none"> ●オリパラ調達基準周知 ●オリパラ調達サイト紹介 【1】 	<ul style="list-style-type: none"> ●関連調達等への九州産品 利用促進、調達基準等への対応促進（ワークショップ 他） 【2】 			
2.海外とのビジネス交流拡大	(1)企業の海外展開、海外ビジネス（対日投資）誘致 (2)在九州公館や海外インフルエンサー等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●キャンプ誘致国からの企業誘致活動支援（JETRO等事業活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の海外展開、国際コンベンションや外資系高級ホテル誘致活動を促進 ●九州プロモーション事業（2018年【5】、2019年【7】と同時開催 			
3.九州発ものづくり技術やソリューションの対外発信強化、新たな商品・サービスの展開の支援	(1)九州企業の技術力発信、販路開拓支援 (2)2020年に向けた事業者等の新事業展開、先端技術の実装を支援	<ul style="list-style-type: none"> ●震災復興支援（熊本地震や九州北部豪雨等の被災企業に対する出展サポート）CEATEC JAPAN（通年）、東京モーターショー（隔年） 【3】 ●KIMONOプロジェクト支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業合同技術展示会 COUNTDOWN SHOWCASE 【5】 			
4.ラグビーW杯等を視野に入れたインバウンド観光への対応加速化	(1)九州の魅力発信、オール九州ブランドづくり、交流人口の拡大による地域の活性化 (2)訪日外国人の消費動向把握、インバウンド対応、サービス産業の生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> ●九州物産展の開催（東京都心） ●地方都市等での九州の魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●IoTおもてなしプラットフォーム実証事業（国の事業活用） ●おもてなし規格認証取得を通じたサービス品質の見える化 【4】 	<ul style="list-style-type: none"> ●祭りアイランド九州 【19年度新規】 		
5.情報収集・提供、機運醸成、交流促進	(1)情報提供、事業支援 (2)オリパラ経済界協議会との連携による九州企業・自治体間の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ●メール配信等°を通じた情報提供による事業者や自治体の参画拡大 ●マッチング、案件組成支援 ●応援プログラム周知 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業間の交流促進（オフィスdeポッチャ等） 【8】 ●自治体間の交流促進（ホストタウンサミット等） 【9】 			

ラグビーW杯・女子ハンドボール

東京オリンピック・パラリンピック

世界水泳

国内外の需要獲得・九州の産業競争力の強化

※【】の数字は取組事例の番号 1

【取組1】オリパラ関連調達サイト「ビジネスチャンス・ナビ2020」の活用

- (公財) 東京都中小企業振興公社が、オリパラ関連入札・調達情報を一元的に集約したマッチングサイト「ビジネスチャンス・ナビ2020」を構築。(東京都が推進する「中小企業世界発信プロジェクト2020」の一環)
東京2020組織委員会の調達案件(例: 選手村への食材供給)への入札手続きも同サイトを通じて行うことが決定。
- 九州からの関連受注拡大を図るため、九州企業の登録・活用を推進。
- 2018年度は農産品など分野を特定した内容で、熊本県で九州チャレンジワークショップを開催。

ウェブサイト・トップページ

<https://www.sekai2020.tokyo/bcn/>



ビジネスチャンス・ナビ2020の利用状況

入札・発注 案件数 (野集中)		企業登録数	
東京2020組織委員会 (電子入札)	7 件	都外団体等 (電子入札)	9 件
民間 (ビジネスマッチング)	59 件	都・都内区市町村等 (入札情報)	749 件

「ビジネスチャンス・ナビ2020」でできること

・仕事を発注する

ビジネスマッチング

・仕事を受注する

電子入札 情報収集

ビジネスマッチング

・企業・商品を検索する

ビジネスパートナーの開拓

企業PR

<システムイメージ>

発注側

<電子入札>

東京2020組織委員会
東京都外郭団体 など

<民間受発注>

民間事業者

<情報提供>

官公庁
都・都民区市町村・国
など

受注側

案件掲載

チャンスナビ

入札参加
結果公表

エントリー

結果公表

全国の事業者

(参考)ビジネスチャンス・ナビ2020 登録件数

九州各県の登録状況

県名／時点	2016.6	2017.6.28	2018.7.13	2019.6.24
福岡県	13	172	208	238
佐賀県	18	64	71	76
長崎県	4	16	19	23
熊本県	1	11	28	34
大分県	20	51	57	62
宮崎県	1	17	39	43
鹿児島県	3	9	18	24
〔九州計〕	60	340	440	500
沖縄県	0	22	28	32
山口県	0	9	12	17
〔山口・九州・沖縄計〕	60	371	480	549
【全国計】	1,732	21,300	26,299	29,878
(うち東京都)	1,317	18,652	22,501	25,133

全国の登録状況(件数順)

2019年6月24日時点

順位	都道府県	件数	順位	都道府県	件数
1	東京都	25,133	25	福井県	60
2	神奈川県	763	26	香川県	45
3	埼玉県	611	27	宮崎県	43
4	千葉県	386	28	岩手県	42
5	大阪府	348	28	山梨県	42
6	福岡県	238	30	岡山県	40
7	愛知県	180	31	秋田県	38
8	静岡県	155	32	熊本県	34
9	宮城県	122	33	富山県	33
10	新潟県	121	34	沖縄県	32
11	北海道	115	35	青森県	31
12	京都府	114	35	山形県	31
13	茨城県	94	35	徳島県	31
14	兵庫県	89	38	滋賀県	24
15	三重県	77	38	愛媛県	24
16	広島県	76	38	鹿児島県	24
16	佐賀県	76	41	島根県	23
18	石川県	74	41	長崎県	23
19	群馬県	72	43	鳥取県	19
20	岐阜県	70	44	高知県	18
21	長野県	69	45	山口県	17
22	福島県	67	46	和歌山県	15
23	栃木県	65	47	奈良県	12
24	大分県	62			

【取組2】「第6回九州チャレンジワークショップ」の開催

～農産品のオリンピック・パラリンピック調達やG A P 取得の意義等～

- 2020年を一つのビジネスチャンスと捉え、今後の事業展開を検討する事業者や自治体の取り組みを促進するため、様々な事業機会の獲得に向けた情報提供等を目的として、ワークショップを開催。
- 農産品のオリンピック・パラリンピック調達やG A P 取得の意義等をテーマに、九州農業成長産業化連携協議会が主催する「農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座」と合同で開催し、特に、大会関連調達者が考える購買基準・優先順位や、G A P 取得により広がるビジネス機会についての講演を実施。

第6回「九州チャレンジワークショップ」の開催

～農産品のオリンピック・パラリンピック調達やG A P 取得の意義等～

- 1.日 時：2018年12月21日（金）13:00～16:20
- 2.場 所：グランメッセ熊本 中会議室（熊本県上益城郡益城町福富1010）
- 3.参加者：2020年を契機とした新規事業等に関心を有する事業者、経済団体、自治体等 約80名
- 4.プログラム：
 - (1) 農産品のオリンピック・パラリンピック調達について（60分）
（公財）東京都中小企業振興公社 事業戦略部
中小企業世界発信プロジェクト 事務局
主任 磯 譲二 氏／発注コーディネータ 牟田 実 氏
 - (2) G A P 取得の意義について（60分）
特定非営利活動法人（N P O 法人）G A P 総合研究所
専務理事 武田 泰明 氏
 - (3) 熊本県の取組み（10分）
熊本県農林水産部農業技術課 課長補佐 大村 誠 氏
 - (4) 国の支援策について（20分） 九州農政局、九州経済産業局
 - (5) 質疑応答・名刺交換（30分）



東京都中小企業振興公社
磯 譲二 氏



東京都中小企業振興公社
牟田 実 氏



G A P 総合研究所
武田 泰明 氏



熊本県農林水産部
大村 誠 氏



会場の様子

【取組3】震災復興支援(熊本地震や九州北部豪雨等の被災企業に対する出展サポート)

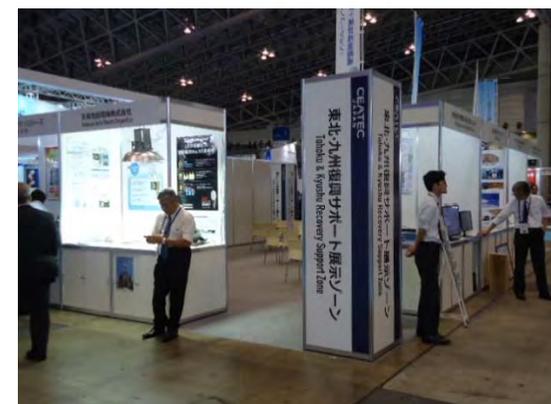
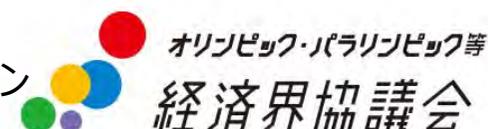
- オリパラ等経済界協議会と連携し、ハードレガシー形成活動の一環として、国内6つの主要展示会でのオリパラムーブメントづくりを進めている。これに併せ、2016年度からは、主要展示会のうち可能なものから東北・九州復興ブースを新たに設置し、熊本地震や九州北部豪雨等の被災企業に対する出展サポートを実施。
- 2018年度はCEATEC JAPAN2018に、九州の企業4社・団体が出展。
- 2019年度はCEATEC JAPAN2019 (10/15～18 @幕張メッセ)、東京モーターショー2019 (10/23～11/4@お台場メガウェブ) に、九州の企業が出展予定。

[2018年度取組]

- CEATEC JAPAN2018 (10/16-19@幕張メッセ) 東北・九州復興サポート展示ゾーン

＜九州出展者＞ 計4社・団体

- ①株式会社オジックテクノロジーズ (本社：熊本市西区、合志事業所：合志市)
- ②天草池田電機株式会社 (熊本県上天草市)
- ③エネフォレスト株式会社 (大分市)
- ④九州半導体・エレクトロニクイノベーション協議会 (SIIQ)
(商談、ビジネスにつながったケースあり。)



CEATEC2018 東北・九州復興サポート展示ゾーン

[2019年度計画]

- CEATEC JAPAN2019 (10/15～18 @幕張メッセ)

＜九州出展者＞ 3社予定

- 東京モーターショー2019 (10/23～11/4@お台場メガウェブ) 「隔年開催」
東北・九州復興サポート展示ゾーン
＜九州出展者＞ 3社予定



東京モーターショー2017
東北・九州復興サポート展示ゾーン

【取組4】訪日外国人の消費行動を把握（IoT活用おもてなし実証事業）

- IoTおもてなしプラットフォームは、訪日観光客を対象に様々なサービスを提供する事業者・地域が連携し、情報の共有・活用が可能な仕組みを提供することで、今まで実現できなかった付加価値の高いサービスを提供。利用者である訪日観光客の意思に基づき、登録された属性情報や、各事業者・地域が収集した利用者の履歴情報の共有、活用が可能。
- 2017年度は全国10ヶ所で事業を展開。九州では「MIRACLE NAGASAKI PROJECT」「負けんばい熊本プロジェクト」、さらに福岡市を含む広域地域で、生体認証による本人確認・決済サービス「Touch&Pay」を活用した取組を実施。
- 2018年度も九州管内でスマホアプリを活用した実証事業を実施。
- おもてなしサービスの実現と訪日観光客の消費拡大を図り、2020年までの社会実装を目指している。

＜2016年度＞ 全国3地域で実証

九州（福岡）ではスマホアプリと連動したプリペイドカードにより、行動履歴を分析。

＜2017年度＞ 全国10地域で実証（九州2地域）

長崎地域（長崎市）

スマホアプリを活用した多言語観光案内・決済環境の提供、行動履歴の分析

熊本地域

（熊本市、上天草市、人吉市、玉名市、菊池郡、上益城郡）

スマートフォンアプリを活用した
①周遊パスサービス、②電子決済サービス

広域地域（宮城県松島町、群馬県草津市、みなかみ町、東京都台東区浅草、鎌倉市、箱根町、湯河原町、三重県菰野町、兵庫県豊岡市、高知県、**福岡市**）

生体認証による本人確認・決済サービス「Touch & Pay」を応用した地域認証

＜2018年度＞ 全国4地域で実証（九州1地域3ヶ所）

長崎・熊本・大分（由布市）

2017年度事業のよりサービス内容充実のため＜九州広域化・地域連携＞と＜データ利活用・新サービス創出＞をコンセプトに実証

＜参加企業＞ 日本ユニシス、NTT西日本、長崎国際観光コンベンション協会、くまもとDMC、熊本国際観光コンベンション協会、由布市まちづくり観光局

＜九州広域化・地域連携＞

- ①周遊パスの広域化
- ②電子決済サービスの広域化、店舗数増加
- ③販売拠点の増加（九州の玄関口である福岡でも販売）

九州全域化を視野に本事業では九州北部エリアに注力してサービス展開

＜データ利活用・新サービス創出＞

- ①PUSH配信による消費拡大・周遊促進
- ②取得データの共有化により、行動分析、観光客の属性や購買動向の把握。新サービス創出に向けたローカルマーケティングの実現。

事業者
（店舗・施設）

旅行者
（訪日外国人）

地域
（九州ローカルPF）

【取組5】企業合同技術展示会「COUNTDOWN SHOWCASE in 九州」

－2020年とその先の未来をつくる先進技術と伝統技術－

- カウントダウンショーケースは、“誰もがバリアなく快適に過ごせる環境をつくり、多様な人々が活躍できる社会実現を科学技術面から演出する”ことをテーマに、2020年に社会実装されているであろう最先端技術を一堂に集めた企業合同技術展示会であり、九州では初めての開催。
- 「第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会in福岡」と併催されることから、日本の未来をつくる「先進技術」と、長い歴史の中で地域に育まれてきた「伝統技術」の融合を通じて新たなイノベーションの創出を目指すことをコンセプト。

■開催概要

1. 日時：2018年11月2日（金）～4日（日）
2. 場所：マリンメッセ福岡（伝産福岡大会会場内）
3. 主催：経済産業省、九州経済産業局、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会、（一社）九州経済連合会、（一財）九州地域産業活性化センター等

■展示会

<11月2日(金)～4日(日) (3日間) / 於. 1Fメイン会場>

- ◆内容：入国から出国までのストーリーを実機展示・デモンストレーションで演出
- ◆出展社数：17ブース（22企業）＊プロモーション事業含む【九州関係】

- ① NTTドコモ九州支社・ドコモCS九州、② OVER D-LIVE、③ Kotozna福岡オフィス、④ スポーツセンシング・帝人フロンティアセンシング、⑤ 大日本印刷・ミライロ福岡支店、⑥ ニワカソフト、⑦ ネクストシステム、⑧ Huber.別府支店、⑨ FREE POWER・宮崎交通、⑩ 九州経済産業局・九州経済国際化推進機構

【オリンピック・パラリンピック等経済界協議会】

- ① NEC、② シャープ、③ セコム、④ デンソー、⑤ トヨタ自動車、⑥ 富士通、⑦ プリチストン

- ◆総来場者数：2,751名
（内訳）2日(金)401名、3日(土)1,241名、4日(日)1,109名

■シンポジウム

<11月2日（金）14:00～15:30 / 於. 1Fステージ>

◆プログラム

- ・富士通が取組む「スポーツ×ICT」～大会後も持続する社会の実現～
松田 竜太 氏（富士通(株)東京オリンピック・パラリンピック推進本部パブリックリレーション シニアディレクター）
- ・海外百貨店経営者から見た九州の可能性
南野 雄介 氏（漢神名店百貨股份有限公司 台湾地区CEO）
- ・貴社の地域製品の海外展開を応援します～知的財産の観点から～
前山 和夫 氏（(独)工業所有権情報・研修館(INPIT) 海外知的財産プロデューサー）

- ◆参加者数：150名

■知的財産相談会

<11月2日（金）11:00～18:00 / 於. 1F展示ブース内>

- ◆内容：地域ブランド、商標、海外展開など知財専門家による無料相談
- ◆相談件数：2件（中小企業）、PRブース対応：557人（一般）

■ビジネスマッチング（バイヤー招聘）

<11月2日（金）12:00～18:00 / 於. 3Fサブアリーナ>

- ◆内容：伝産大会主催の商談会と連携した地域製品の販路開拓支援
- ◆商談件数：24件



展示会の様子



展示会の様子



展示会の様子



プロモーション事業の様子



シンポジウムの様子

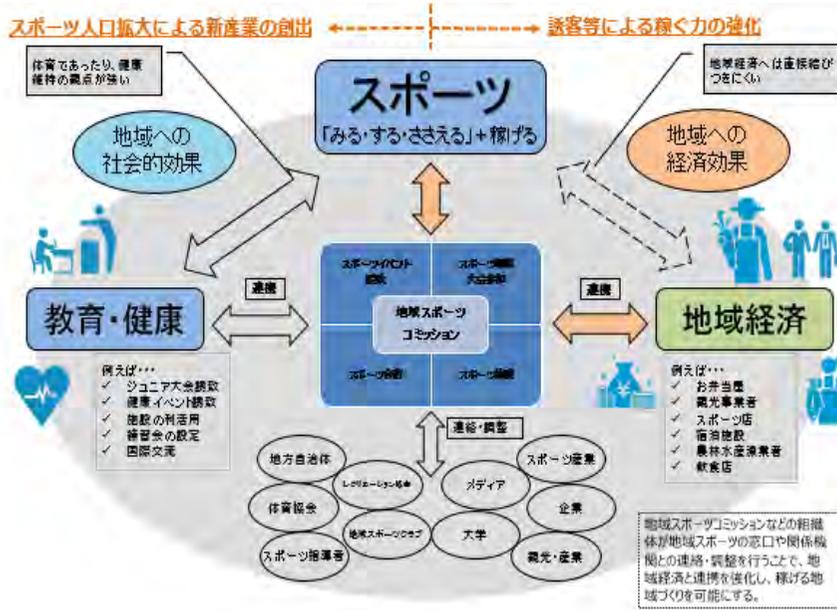


知的財産相談会の様子

【取組6】2020を契機としたスポーツ×地域産業等による地域・経済活性化モデル構築支援事業 —スポーツを通じた稼げる地域づくり支援事業—

- 九州の全市町村に対してアンケート調査を行い、スポーツを通じて地域活性化に取り組む市町村に対して専門家派遣することで、課題解決に向けたアドバイスの提供、事例やノウハウを共有することでスポーツを通じた稼げる地域づくり事業を九州全体への横展開を目指す事業（7地域8事例を選定、計11回の専門家派遣）。
- 事業のまとめとして、サッカーを通じて地域ブランドづくりに取り組む「鹿島アントラーズ」やデザイン経営を実装する「BEPPU PROJECT」による講演、派遣市町村代表からの成果事例発表や専門家が一同に会したパネルディスカッション等を実施。

＜事業スキーム＞



＜事業の流れ＞

①調査・分析

アンケート・ヒアリング等によるニーズ把握と事例分析

②専門家派遣

専門家派遣による課題解決・取組の加速化

③シンポジウム開催

ノウハウ・課題を共有し、スポーツを通じた地域活性化の動きを九州全体に波及

◆ 専門家派遣事業

専門家	派遣先	内容
九州産業大学 地域共創学部 観光学科 教授 田代雅彦 氏	福岡県宗像市	スポーツイベントによる交流人口拡大（誘客・インバウンド・おもてなし）と受入体制の検討（DMO設立等）
	鹿児島県指宿市	
PlusNine(株)代表取締役/ 蹴-1 協会事務局長 宮城亮 氏	熊本県阿蘇市	地域資源とスポーツ事業との連携可能性を検討
	熊本県大津町	スポーツコミッション設立の検討
	大分県九重町	
	宮崎県都農町	スポーツコミッションの自立化（収益事業やブランド構築、商標等）の検討
一宮商工会議所 企画事業部 宮田京氏	鹿児島県指宿市	地域団体商標登録に向けた勉強会（商工会議所が権利者でサービス分野で取得した一宮モーニングを招聘）
(株)ギラヴァンツ北九州 強化・育成・普及本部 本部長 下田功氏	鹿児島県知名町	スポーツ指導者の育成



専門家派遣事業の様子



シンポジウムの様子

◆ シンポジウム

【日時】2019年3月7日（木）13:30～17:30

【会場】電気ビル共創館3階「カンパレンスA」

【出席者数】110名（関係者除く）

【講演】鹿島アントラーズFC 取締役事業部長 鈴木秀樹 氏
BEPPU PROJECT 代表理事 山出淳也 氏

【事例発表】大津町、指宿市、知名町

【パネルディスカッション】専門家派遣講師等

【取組7】<2019年度新規>

祭りアイランド九州の場を活用した先端技術の社会実装及び九州プロモーション事業

- 祭りアイランド九州とタイアップし、九州企業等の社会課題解決や生活の質の向上につながるソリューションに対してフィールドテストの場を提供することで、AIやIoTなどの先端技術の社会実装をサポートする。
- 2020以降の九州の先端技術や文化等広く発信することで、九州の知名度向上、対九州投資促進の契機とする。

【日程】：2019年9月28日（土）、29日（日）

【場所】：祭りアイランド九州会場内（熊本市中心商店街）

【主催】：九州経済産業局、（一社）九州経済連合会、
（一財）九州地域産業活性化センター、
九州経済国際化推進機構

(1)先端技術の社会実装に向けたフィールドテストサポート事業

- ①九州の中小企業の独創的、革新的な技術・製品等を募集し、展示、社会実装のイメージが膨らむようストレスフリー等に係るデモ体験等、実証サポートを行う。
 - ・九州企業（中小・ベンチャー）が開発するソリューション
AIやIoT、アプリ、映像サービス等

- ②オリンピック・パラリンピック経済界協議会等と連携し、多言語翻訳やVR、おもてなしなど訪日外国人をターゲットとした先進技術の実装や等、実証サポートを行う。

- ・多言語翻訳機関係
メガホンヤク（パナソニック）、おてぼん（リクルート）
- ・おもてなし関係
&HAND（DNP・ミライロ）等

（同時開催）

九州・火の国元気まつり（主催：九州商工会議所連合会、熊本商工会議所連合会）が行う各県観光・物産ブースにおけるキャッシュレス決済サービス実証事業との連携

- ・LINEpay、PayPay 海外クレジット等

(2)九州プロモーション事業

- ◇海外への情報発信に優れた専門家を活用し、
- ①海外への訴求力向上への助言を得る
 - ②九州企業の先端技術等九州の魅力を海外へ発信
 - ③交流事業

(3)その他

- ◇関係者間の交流の場の提供
- ①ソリューションを持つ大企業と中小企業
 - ②課題解決に取り組む企業と自治体
 - ③専門家と対日投資・インバウンド獲得を目指す自治体等



下通アーケード内に特設ブース設置予定(調整中)

【取組8】企業対抗パラスポーツ大会「オフィスdeボッチャ」との連携による交流促進 (Office de Boccia in 福岡 2018 冬の陣)

- オリンピック・パラリンピック等経済界協議会が実施する「オフィスdeボッチャ」事業と連携し、障害者と健常者がスポーツを通じた交流やパラスポーツ競技の楽しさ・奥深さを体感することで、企業間の交流ネットワークを強化。
- 2019年6月に「Office de Boccia in 福岡 2019 春の陣」を開催。



○日程・会場：

【予選】

12/ 6 (木) 18:30~20:30

@野村証券福岡支店2階ホール

(福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル)

12/12 (水) 18:30~20:30

@東京海上日動博多支社10階ホール

(福岡市博多区綱場町3-3 福岡東京海上日動ビル)

【決勝】

12/20 (木) 18:00~20:30

@博多座エントランスホール (福岡市博多区下川端町2-1)

○参加企業：59企業・団体

企業人たちが、
業界・会社の枠を超えて「ボッチャ」で戦う！
経済界の障がい者スポーツ盛り上げ策案として、企業や団体のボッチャを通じて交流します！
障がい者スポーツを体感し、その楽しさを一躍に広めていきましょう！

2018.12.20

Thursday 18:00-20:30

12月13日、12月20日に、事前プロモーションを行います。

博多座 エントランスフロア
<地下鉄博多駅・博多駅 可児/博多駅>

経済界協議会 九州経済連合会

オリンピック・パラリンピック等
経済界協議会



【取組 9】ホストタウン登録自治体の情報交流

- ホストタウン運営に関する情報交換の場として、2017年8月「九州・沖縄ホストタウン&キャンプ地連携会議」が開催（主催：（一社）オーガニックビレッジジャパン）。九州内外から約60名の自治体関係者が出席。事前キャンプ地として豊富な経験を持つ福岡市から、各種スポーツ大会事前キャンプ地実践マニュアル（草案）の説明。内閣官房オリパラ事務局等各機関から情報提供。
- 2018年度は8月には福岡県宗像市において、経済界協議会等の協力を得て、九州版ホストタウンサミット及びオリンピック・パラリンピック競技大会2年前を記念したスポーツ交流イベントを、福岡県主催により開催。

1. 日時：2018年8月17日(金) 12:50～19:15
2. 場所：ロイヤルホテル宗像(福岡県宗像市)
3. 主催：福岡県、ふくおかスポーツ振興プロジェクト実行委員会
4. 来場者数：100名
5. 実施概要：
九州圏内のホストタウンが集まり、情報交換や今後の進め方を議論する「ホストタウンサミット in 九州」が鈴木オリパラ担当大臣ご臨席の元福岡県で開催。

経済界協議会からは、ANA、東京海上日動、東武トップツアーズ、トヨタ自動車、富士通、三井住友銀行、明治が参加し「企業としてどういふサポートができるか」を提案。

パネルディスカッションやグループワークにも参加し、各ホストタウン自治体の皆さんと今後の進め方のイメージについて共有することができた。

<参加企業>

ANA、東京海上日動、東武トップツアーズ、トヨタ自動車、富士通、三井住友銀行、明治



1.ホストタウン 登録自治体一覧（第1～13次登録、九州分）

都道府県	登録団体名	相手国・地域
福岡県	福岡県 福岡市	スウェーデン ノルウェー
	北九州市	タイ
	飯塚市	南アフリカ
	田川市	ドイツ ベラルーシ
	宗像市	ブルガリア ロシア
	福岡県 久留米市	ケニア カザフスタン
	福岡県 柳川市 みやま市 みやこ町 築上町	米領サモア、パラオ、クック諸島、パプアニューギニア、ミクロネシア、サモア、フィジー、ソロモン諸島、グアム、トンガ、キリバス、ツバル、マーシャル諸島、バヌアツ、ナウル
	福津市 古賀市	ルーマニア
佐賀県	佐賀県 嬉野市 佐賀市	オランダ フィジー ニュージーランド
	佐賀県	タイ フィンランド

長崎県	長崎県 長崎市 佐世保市 島原市 諫早市 大村市 杵岐市 雲仙市 南島原市 川棚市	ベトナム
	長崎県 島原市	スペイン
	長崎県 諫早市	フィリピン
	長崎県 長崎市 大村市	ポルトガル
	長崎県 長崎市	ラオス
	熊本県	熊本県
大分県	大分県	ニュージーランド
	大分県 大分市	ポルトガル ロシア イタリア 米国 ハンガリー ルーマニア ウクライナ
	大分県 大分市 別府市	フィジー
	別府市	ニュージーランド
	大分県 中津市	マレーシア

宮崎県	大分市	スイス
	宇佐市	モンゴル
	宮崎県 宮崎市 延岡市 小林市	ドイツ
	宮崎県 宮崎市 西都市 日向市	イタリア
	宮崎県 宮崎市	英国 カナダ
	都城市	モンゴル
	日向市	米国 トーゴ
	延岡市	ミャンマー
鹿児島県	鹿屋市	スロベニア タイ
	大崎町	台湾 トリニダード・トバゴ
	三島村	ギニア
	薩摩川内市	中国
	徳之島町	セントビンセント及びグレナディーン諸島
	西之表市	ポルトガル
	伊仙町	ボスニアヘルツェゴビナ
	和泊町	ドミニカ国
知名町	グレナダ	
与論町	アンティグア・バーブーダ	

2.共生社会ホストタウン 登録自治体（九州分）

○田川市(ドイツの車いすフェンシングチームを迎えるパラリンピック大会を契機にハード・ソフトの両面のバリアフリーを実践)

○飯塚市(飯塚国際車いすテニス大会の経験と精神を基盤に共生社会の実現を目指す)

○大分市(大分国際車いすマラソン大会の開催実績を活かし、スイスを交流相手国として、これまで以上に誰もが暮らしやすく訪れやすい都市を目指す)